

## 貯留浸透BOXのメンテナンス

### ◇ ポラコンの維持管理

本来の機能を損なわないように、衛生・環境の管理を安全に行い、流出抑制機能及び浸透機能を維持する管理（メンテナンス）が必要となります。

貯留浸透BOXの清掃は、浸透柵や浸透側溝と同様に、内部清掃及び土砂搬出などの通常の清掃方法と、吸引洗浄車等を用いて行う方法があります。人力による施設内部の清掃が困難な場合もあり、安全に十分に留意して行う必要があります。

また、碎石に泥が入り込むと碎石部分を掘り出し洗浄を行う場合もあります。可能な限り、施設流入前の集水柵等について浸透柵と同様な清掃を行います。浸透柵には、着脱可能な目詰まり防止装置等を設置することを提案しています。

### ◇ ポラコンの点検・メンテナンスの内容

点検作業	<b>定期点検</b> [時期] 年1回以上。雨期の前等。	・破損等、施設状態の点検 ・土砂やゴミ等の堆積状況（メジャー等で確認）	[点検項目] <input type="checkbox"/> 土砂、ゴミ、落葉の堆積状況 <input type="checkbox"/> ゴミ除去フィルターの閉塞状況 <input type="checkbox"/> 樹根の侵入の有無 <input type="checkbox"/> 蓋のズレ <input type="checkbox"/> 施設の破損・変形 <input type="checkbox"/> 地表面の状況（沈下、陥没等）
	<b>非常時点検</b> [時期] ・大雨が予想される前 ・地震等の災害後 ・周辺での土工事等の終了後	・大雨が予想される前の点検 ・地震等の災害後の破損、損壊等の状況の点検	
	機能点検	・簡易浸透試験による機能確認（バケツ等で注水し、目視にて確認する） ・降雨時の機能確認	
	安全点検	・破損等の施設状態の点検	
メンテナンス	清掃	・土砂、ごみの除去	
	補修修繕	・点検時の破損を発見後の補修	

表1 ポラコンの維持管理・点検内容

### ◇ 貯留浸透BOXの清掃

清掃方法	・内部に堆積した土砂等が閉まって状態の場合、高圧洗浄機で攪拌し吸引する ・壁面は、汚れを剥がしとるように高圧洗浄機で洗い流す
注意事項	・土砂等の除去に高圧洗浄機を用いる場合、噴射圧で土粒子を浸透面に押し込み浸透能力を低減させてしまうことがあるため、浸透面に対して垂直に当てないように注意する ・洗浄排水が施設内に逆流しないように注意する

※目詰まり防止装置（フィルター等）が破損している場合、付着物が取れない場合は交換してください。